

# 〔麦わらすき込み〕 実践マニュアル

麦わらは、**有機物が豊富**に含まれている有機質材料です。  
麦わらをすき込むことによって、**地力向上**や**生産力向上**につながります。燃やさず、すき込みましょう！

麦わら  
すき込みの  
手順・ポイント

手順

1

## カッターとドロッパーを切り替えましょう！

麦わらは、バラ落としせずに、細断し圃場一面に散布しましょう。

手順

2

## コンバインのカッター調節を行いましょう！



コンバインのカッターの刃  
刃の間隔は  
15cm



代かき時の浮遊量を減少させるため、麦わらは**15cm以上の[長め]**にカットしましょう。

手順

3

## 麦わら分解促進のため窒素を添加しましょう！

麦わらすき込み開始後3年間は、麦わら分解のため、**窒素2.5kg/10a**を元肥に加える必要があります。

手順

4

## 深め、早めの耕起とベタかき(極浅水)を行いましょう！



トラクタの尾輪の後に  
水がある程度



長め切りとベタかきで  
土となじんでアズは無い



ロータリーの押さえ板の  
後ろからふわあっと  
泥が上がる状態

手順

5

## 移植後の水管理を徹底しましょう！

ガスの発生は、移植後4週間でピークを迎えます。このため**移植後15日、25日**に水の入れかえ(強制落水)を行いましょう。その後は、浅水管理を行い、**間断灌水、中干し**を行いましょう。

お問い合わせは、お近くの農業振興センター、JA等にご相談ください。

# 麦わらは有機物が豊富に 含まれる有機質資材です。 肥料節約につながります。

麦わらは、**有機物が豊富**に含まれています。圃場すき込みによって、有機資材として利用できます。

麦わらを圃場にすき込むことは、土壌の改善（排水性・保水性の向上など）や

**地力向上、収量アップ**につながる効果があります。

## 麦わらに含まれる成分

麦わらには、植物が必要とする栄養の三大要素である「チッソ」「リン酸」「カリ」が豊富に含まれており、3年以上すき込むことによって

**無機質肥料の投入を抑えることができます。**

## 肥料の節約につながります。

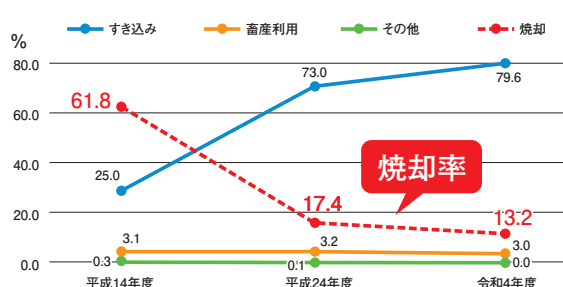
【農業試験研究センター・JAさがのデータをもとに作成】

|      | チッソ  | リン酸   | カリ    | ケイ酸   | カルシウム | マグネシウム | 炭素    | 投入相当金額※1・※2   |
|------|------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|---------------|
| 大麦わら | 0.5% | 0.21% | 2.18% | 4.5%  | 0.50% | 0.16%  | 45.2% | 12,000(円/10a) |
| 小麦わら | 0.3% | 0.18% | 1.76% | 4.5%  | 0.36% | 0.10%  | 41.2% | 15,500(円/10a) |
| 稲わら  | 0.6% | 0.20% | 1.70% | 15.0% | 0.50% | 0.10%  | 38.0% | 22,100(円/10a) |

※1. わら重量は、600kg/10aで算出 ※2. 肥料価格については、令和4年度価格をもとに算出

麦わら・稲わらは**燃やさず**に**有効活用**しましょう!!  
生産者の理解と協力で**地域環境**が守られています。

令和4年産の県内の麦わらは  
約8割が**すき込み**されました



令和4年産の県内の稲わらは  
97.2%が**有効活用**されました

